



むつ市議会だより

題字：坂本 ^{さかもと} 陽菜さん(むつ☆かつ美術クラブ)



絵：冬 ^{あしやの} 陽乃さん(青森県立田名部高等学校 1年生 美術部)

議会報告会

詳細は2・3ページへ

議員と中学生との意見交換会を開催

～ 若者の視点から見るむつ市とは ～

一般質問

詳細は6ページへ

12の視点

議案審査

詳細は4ページへ

固定資産税と市・県民税の納期が 来年度から8回から4回へ

× 中学生

るむつ市とは ～

特集

議会報告会



主権者教育の

役割も果たす

むつ市議会では、毎年「むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会」を開催しています。今年度は、新たな取り組みとして、若年層の方に議会への関心をより持っていただけるよう、市の未来を担う中学生と意見交換会を開催することになりました。

議会日より令和7年10月号では、9月26日に開催した脇野沢中学校との意見交換会の様子を紹介しましたが、今号では11月12日に開催したむつ中学校との意見交換会、11月13日に開催した田名部中学校との意見交換会の様子をご紹介します。

意見交換では、グループに分かれて、議員と生徒の皆さんが一緒にむつ市の問題点や課題、その解決策について考え、最後に各グループの結果を発表しました。

大人の視点では、なかなか気づきにくい部分等、中学生ならではの視点からの意見が多くあり、とても有意義な時間となりました。

また、意見交換会を通して、生徒の皆さんには、少しではありますが、普段、議員がどのような活動をしているのか、むつ市議会がどのような場所なのかということ

むつ市議会

～ 若者の視点から見

むつ中学校との意見交換会(11月12日)



📷グループワークでむつ市の課題を考える

11月12日、むつ中学校の3年生(約50名)を対象に、むつ中学校で意見交換会を開催しました。意見交換会終了後に提出されたアンケートでは、「社会学習活動の一環として、とても有意義な時間だった」「これかからも継続して行ってほしい」といった感想をいただきました。



田名部中学校との意見交換会(11月13日)



📷議場で初めて議会報告会を開催

11月13日、田名部中学校の2学年協議会(17名)を対象にむつ市議会議場で意見交換会を開催しました。意見交換会終了後に提出されたアンケートでは、「議員と意見交換する機会はないので貴重な体験となった」「議員のイメージが変わった」といった感想をいただきました。



中学生から出された意見の詳細は →
ホームページをご覧ください



田名部中学校2学年協議会の皆さん

とを伝えることができ、主権者教育としての役割も果たすことができたものと考えています。
むつ市議会として、今後もこのような取り組みを開催できるように努めていきたいと考えています。

のか「注目の議案にズームイン!!!」

Zoom 1

議案第79号 むつ市税の徴収等の特例に関する条例を廃止する等の条例

固定資産税、市・県民税の納付回数に変更

税の納付回数が年4回に変更

問 具体的な変更点は。

答 固定資産税と市・県民税の納付回数がこれまで年8回から年4回に変更となる。固定資産税の納付月は5月・7月・9月・11月となり、市・県民税の納付月は6月・8月・10月・12月と変更になる。支払い回数は減少するが納税額に変更はない。

問 市民への周知方法は。

答 定例記者会見や広報むつ、FMアジュールでの放送、市のホームページへの掲載、チラシやポスターの掲示、むつ市公式LINE等のSNSでの情報発信を検討している。むつ市以外にお住まいの方には納付回数、納付月の変更について、案内を送付し、丁寧な周知に努める。

	現 状	変 更 後 (令和8年度～)	
	固定資産税 市・県民税 (8回)	固定資産税 (4回)	市・県民税 (4回)
5月		1回目	
6月	1回目		1回目
7月	2回目	2回目	
8月	3回目		2回目
9月	4回目	3回目	
10月	5回目		3回目
11月	6回目	4回目	
12月	7回目		4回目
1月	8回目		

Zoom 2

議案第88号 令和7年度むつ市一般会計補正予算

(天然記念物ニホンザル・カモシカ食害対策事業費)
(野生鳥獣生活環境被害対策事業費)

サル、熊の対策を強化

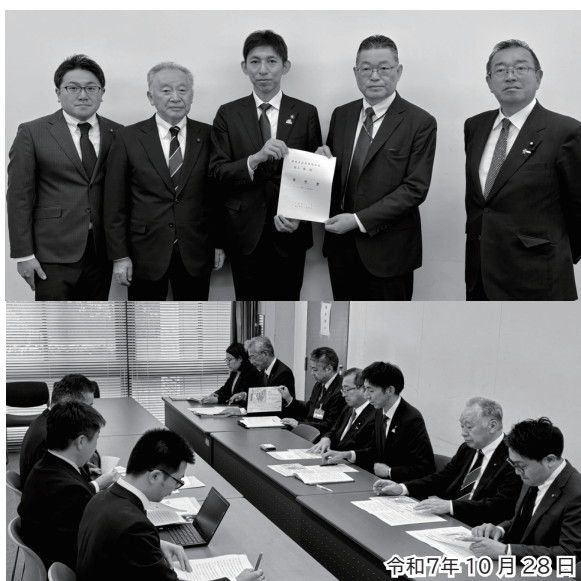
被害の軽減に期待

問 サル被害対策の事業概要は。

答 ニホンザルによる食害を防ぐことを目的に、電気柵を設置する事業で、市内5か所、合計560メートル分の原材料費を計上している。設置時期は、今年度3月中の予定である。

問 熊被害対策の事業概要は。

答 市街地など、人の生活圏に熊を近づけない環境整備を行うための放任果樹等伐採費の一部補助金となる。現在、申請を受付中だが、当初予算を超える助成希望が寄せられていることから、増額補正をしている。



令和7年10月28日

議会議と市で環境省へ熊対策に関する要望活動を実施

議案審査

この議案でむつ市の 何が変わる

Zoom 3

議案第96号 令和7年度むつ市一般会計補正予算(災害復旧費)

地震によるむつ市の公共施設の 被害額 1億2000万円強

国や県からの財政支援は

問 青森県東方沖を震源とする地震による公共施設の被害額は、

答 インフラ等を含む公共施設の被害額は、1億2000万円強
となっている。

問 国や県からの財政支援は、

答 災害復旧に関する補助金の活用については、現在国や県に確認している。今後活用可能となったら、財源構成等によって地方債を充当している部分については、補助金を活用していきたい。



地震によりしもきた克雪ドーム内の柱の一部が破損



地震により道路が隆起

Zoom 4

議案第70号 むつ市子ども夢育成基金条例の一部を改正する条例

こどもの夢を 未来につなぐ条例改正

不登校支援の拡充へ

問 社会的自立を支援する事業を追加した経緯は。

答 学びの多様な学校設置を表明後、市民から不登校児童支援や寄付の申し出の声が寄せられ、こどもたちへの支援の機運が高まった。先進事例を参考にしながら、市の財政負担を抑えつつ、持続可能な取り組みが必要と判断し、今回の追加に至った。

問 不登校支援に関する基金の活用方法は。

答 備品整備のほか、学びの多様な学校では、こどもたちがやりたい行事を話し合いながら決定していくため、こどもたちが自発的に考えていくものについても基金を活用していきたい。また、学びの多様な学校だけではなく、各学校に設置されている校内教育支援センター及び、むつ市教育支援センターにおいても同様に基金を活用することを考えている。



教育支援センターで行われた行事「センター FES2025」

一般質問 12の視点

YouTubeで一般質問の配信動画をご覧ください →



議員から独自の視点で質問・提案する一般質問
今回は12人が登壇



P.9	P.9	P.8	P.8	P.8	P.8	P.7	P.7	P.7	P.7	P.6	P.6
クマ被害対策	誰一人残さない	フレイル予防	自動運転バス実証	暫定税率が廃止に	優先的避難場所へ	助成の検討開始	財政の未来	ホタテ被害対策	防災情報の強化	投票区の見直し	新流通センター



(陸奥未来)

とみおか なおや
富岡 直哉 議員が問う

投票区の見直し

政策提案

人口減少が進み、
選挙運営体制の見直しをすべき

Q 投票区・投票所の再編について、どのように考えているか。

A 現在の投票区は、合計69投票区となっており、合併前の各市町村の投票区をそのまま引き継いでいる。また、選挙事務従事者については、職員及び会計年度任用職員が従事しているが、職員数が年々減少していることや、投票立会人についても、人口減少や高齢化により、選任が難しい状況となっている。

これらの状況から、投票



青大へおでかけ投票所設置



(陸奥未来)

さ さ き たかのり
佐々木 隆徳 議員が問う

新流通センター

政策提案

希望と活力を生み出す
魅力ある施設を目指せ

Q 新流通センター建設にあたり、現在までの進捗状況は。

A 「わきのさわ夢プロジェクト推進協議会」において、一定の合意形成ができたものと認識しており、本年度策定された基本構想をベースに基本設計と実施設計を行い、順次解体工事・建設工事に着手していく。

Q リフレッシュセンター鱧の里の機能は、どの程度反映されるのか。

A 基本構想では、これまで以上に脇野沢地域の玄関



今年度で廃止となる鱧の里

口として、特産品の販売スペースや飲食店を設けるほか、むつ湾フェリーの発券所や24時間トイレを整備する等、利便性の高い施設を目指している。



(無会派)
くどう しょうこ
工藤 祥子 議員が問う

ホタテ被害対策

政策提案

ホタテへい死の危機的状況の 打開に向けた支援を

Q 現時点のホタテの被害状況と来年のための親貝確保の見通しを伺う。

A 漁協からの聞き取りでは市内3漁協の平均へい死率は、養殖施設の場所や水深等によりばらつきがあるものの、むつ市全体で70%から80%と伺っている。来春に産卵する親貝不足が予想されるため、親貝の出荷時期を遅らせることによって漁業者に生じる損失を補てんするための基金造成への支援を考えている。



📷 漁港にとまるホタテ漁船

A 52の関係団体を把握しており、国の補助の主な内容は伝統文化親子教室開催費用、太鼓の修理、衣装の新調等であり、市として周知を図っている。

民俗芸能の継承発展に関する条例での市の役割、支援等を伺う。



(むつの風)
すぎうら ひろき
杉浦 弘樹 議員が問う

助成の検討開始

政策提案

加齢性難聴者に対する 補聴器購入の助成制度創設へ

Q 全国の自治体では、加齢性難聴に対しての理解が進み、補聴器購入に対する助成が進んでいる。むつ市においても、持続可能な地域社会を構築する上で、高齢者福祉政策の充実は大変重要であることから、助成制度の導入ができないか。

A 当市においても、加齢性難聴に対する助成制度について検討を開始することとしている。具体的には、令和8年度に「むつ市第10期高齢者福祉計画介護保険事業計画」を策定すること



📷 片耳平均15万円する補聴器

を受け、現在その事前調査である介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施しており、状況把握に努めている。今後は、その結果を参考としながら、加齢性難聴に対する支援策について検討を進めていきたい。



(市誠クラブ)
さが ひろお
佐賀 英生 議員が問う

防災情報の強化

政策提案

より一層の防災情報の 拡大に努めるべき

Q 防災情報電話・FAX配信事業の詳細について伺う。

A 市では、津波情報や避難情報、緊急性を伴う行政情報を自宅の固定電話やFAXに配信するサービスを導入し、情報伝達手段の充実を一層努めていく。配信内容は、緊急性を伴う行政情報を想定している。利用方法は、希望する方から事前に申請していただき、電話番号を登録する必要がある。

Q 道の駅計画の現状について伺う。



📷 携帯の無い人にも情報を

A 下北半島縦貫道路が、令和14年度に全線開通との発表があったことから、再び道の駅構想を動かす調査を行っており、グランドデザイン策定業務を委託した。



(無会派)
たかはし まさし
高橋 征志 議員が問う

財政の未来

政策提案

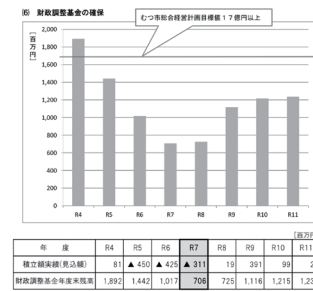
むつ病新病棟を見込んだ 新たな財政シミュレーションを

Q 現在の財政シミュレーションには、むつ総合病院新病棟建設が見込まれていない。将来のリスクを正しく把握するために、見直すべきではないか。

A 病棟を建て替えれば、実質公債費比率や将来負担比率は必然的に上がる。それでも国の基準内に抑えられるよう、シミュレーションしていきたい。

Q 令和8年度に残高17億円という、財政調整基金の目標の達成は不可能か。

A 目標達成は厳しい。



📷 財政調整基金7億円は危険

Q 総合経営計画の検証について伺う。

A PDCサイクルが必ずしも効果的に機能したとは言えず、人口や財政等の指標において、目標達成が厳しい状況にあることは事実として重く受け止める。



(自民クラブ)

あさり たけじろう

浅利 竹二郎 議員が問う

暫定税率が廃止に

政策提案

暫定税率の廃止を 経済発展に繋げるべき

Q 暫定税率の廃止で、燃料価格の低下は市民の日常生活に影響を及ぼすだけではなく、物流をはじめとした地域の経済活動にも一定の変化をもたらすと考えるが。

A 通勤買い物に使用する自家用車を利用する市民の負担軽減や、本州最北端に位置する本市の物流コストが低下することにより、地域の産業や商業活動に対する恩恵が大きいと考える。

Q 高齢者の聴覚障害に関する現状把握はどうなっているか。



ガソリンスタンドが身近に

A 現在、介護予防及び日常生活に関するニーズ調査を実施しており、その調査項目の一つとして、「耳の聞こえ方について」の項目を設け、加齢性難聴の実態調査を行うこととする。



(自民クラブ)

いだ しげき

井田 茂樹 議員が問う

優先的避難場所へ

政策提案

デジタル防災センター多目的 ホールを災害時の避難場所へ

Q ユニバーサルシートを設置する目的と、具体的な利用対象者の想定はあるのか。

A 防災センターに整備される避難所エリアは、平時は会議室や健診会場として、災害時は避難所として活用できるように、ユニバーサル仕様トイレ、授乳室、配慮が必要な方のための個室が設置されるなど、一般的な環境が整っており、一般の方、配慮が必要な方にも安心してご利用いただけるものと考えている。



現在工事中多目的ホール

Q 特に配慮が必要な方の優先的避難場所として、位置づける考えはあるのか。

A 専門的な医療・介護スタッフによる提供体制整備をはじめ、一般の方の避難も想定されるなど、考慮すべき点があり、今後慎重に検討していく。



(公明・自由)

さくらだ ひでお

櫻田 秀夫 議員が問う

フレイル予防※

政策提案

高齢者の社会参加を軸とした 孤立防止施策の強化を

Q 孤立防止や社会参加を促す取り組みは。

A NPO法人やボランティア団体、町内会などの地域団体が運営する、地域サロンや介護予防活動等を支援している。

Q 温泉を活用した交流の場と利用補助は。

A コミュニティセンター脇野沢では、健康相談や「脇野沢温泉湯好会」が定期的に出店販売している。料金は、ふれあい温泉川内と脇野沢で380円、老人福祉センターは230円、75歳



つながり育む笑顔の輪

以上の市民は、3施設ともに110円で、10回分購入で、12回分の回数券を販売し、高齢者に配慮した料金設定となっている。今後は、他市の先進事例を参考に、当市にあった対策を調査研究していく。



(陸奥未来)

むらなか ひろあき

村中 浩明 議員が問う

自動運転バス実証

政策提案

地域の足を守るために、 持続可能な公共交通の確立を

Q 今年度の自動運転バス実証運行状況を伺う。

A 1周約7.6キロメートルの循環ルートで一日6便運行し、乗車人数は29日間で延べ667人が利用。

Q 今後の事業目標を伺う。

A 来年度はレベル2で冬季間を含む長期間の実証運行を行う予定である。また令和9年度以降において、ドライバーが同乗することなく車両が走行できる自動運転レベル4での実証運行へとステップアップし、将



むつの街を走る未来のバス

来の自動運転レベル4での移動サービス社会実装を目標に取り組んでいく。

Q 重要文化財二枚橋2遺跡出土品の、常設展示場の整備について伺う。

A 相応の事業費が見込まれることから、引き続き調査研究に努める。

※ フレイル予防：高齢者が加齢に伴い心身の活力が低下し、健康障害や要介護状態に陥るリスクを減らすための取り組み



(無会派)
さとう たけし
佐藤 武 議員が問う

クマ被害対策

政策提案

緊急対策として ハンターの確保を

Q 「学びの多様化学校」はなぜ必要なのか。

A 学校の中のもう一つの居場所として、校内教育支援センターを設置し、教育研修センター内にむつ市教育支援センターを開設し、学校復帰を目指した不登校支援を行っている。「少人数で学びたい」「自分のペースでゆっくり学びたい」といったニーズも高まっており、当市においても学びの多様化学校の開校を望む声が寄せられている。

Q 生徒数等、学校規模、

Q ハンターの人数と年齢構成はどうなっているか。

A 地元猟友会から推薦されているハンターは31名で、平均年齢は62歳。60代以上が24名で年齢層が高く、割合も高い。高齢化による担い手不足が懸念されている。

Q 国連子どもの権利委員会から、ストレスの多い学校環境、過度な競争的システムからの解放、是正が求められているがどう考えているか。



📷 増えるクマ被害

A 学校現場における過度に競争的なシステムは、子どもの学校への不適応や学習意欲の低下につながるものと考えており、教育委員会としては、各学校にこどもに寄り添った魅力ある学校づくりを求めている。



(市誠クラブ)
さとう ひろまさ
佐藤 広政 議員が問う

誰一人残さない

政策提案

学びの多様化学校の 詳細な説明を市民に

Q 「学びの多様化学校」はなぜ必要なのか。

A 小学校は1クラス8人の3学級、中学校は1クラス10人の3学級の計6学級54人程度を想定しており、少人数によるきめ細かな支援が可能となるよう配慮している。

A 学校現場における過度に競争的なシステムは、子どもの学校への不適応や学習意欲の低下につながるものと考えており、教育委員会としては、各学校にこどもに寄り添った魅力ある学校づくりを求めている。



📷 学びの多様化学校予定地

ここでおさえる 臨時会・定例会の

◎ 第266回定例会

議案番号	件名	審議結果
66	財産の取得について (むつ市デジタル防災センターに配置する什器備品を購入するためのもの)	◎
67	むつ市監査委員条例の一部を改正する条例	◎
68	むつ市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	◎
69	むつ市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	◎
70	むつ市子ども夢育成基金条例の一部を改正する条例	◎
71	むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例	◎
72	むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎

※ 次のページへ続く

議決結果

◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし

★ 議案の内容や過去の賛否一覧も議会ホームページから見るができます。



◎ 第169回臨時会

議案番号	件名	審議結果
64	財産の取得について (避難所の生活環境の改善に取り組み、災害対応力の強化を図るため、防災資機材を整備するもの)	◎
65	令和7年度むつ市一般会計補正予算 (〔仮称〕むつ市立学びの多様化学校整備事業費等)	◎
報28	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報29	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-

議 決 結 果

★ 議案の内容や過去の賛否
一覧も議会ホームページ
から見るができます。



◎ 第266回定例会

◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし
※賛否が分かれた議案は濃色で表示しています。

議案番号	件 名	審議結果	議案番号	件 名	審議結果
73	むつ市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎	86	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	◎
74	むつ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎	87	むつ市固定資産評価審査委員会の委員に選任する者につき同意を求めることについて	◎
75	むつ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎	88	令和7年度むつ市一般会計補正予算(むつ市防災マップ作成事業費等)	◎
76	むつ市営住宅条例の一部を改正する条例	◎	89	令和7年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算	◎
77	むつ市交通安全条例の一部を改正する条例	◎	90	むつ市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎
78	むつ市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	◎	91	むつ市特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	◎
79	むつ市税の徴収等の特例に関する条例を廃止する等の条例	◎	92	むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○
80	指定管理者の指定について(下北文化会館の指定管理者を指定するためのもの)	◎	93	むつ市こども・子育て会議条例の一部を改正する条例	◎
81	指定管理者の指定について(大畑中央公園の指定管理者を指定するためのもの)	◎	94	令和7年度むつ市一般会計補正予算(給与費等)	◎
82	指定管理者の指定について(むつ市宮宮後牧野外4施設の指定管理者を指定するためのもの)	◎	95	令和7年度むつ市一般会計補正予算(物価高騰重点支援事業費等)	◎
83	指定管理者の指定について(脇野沢瀬野牧野外6施設の指定管理者を指定するためのもの)	◎	96	令和7年度むつ市一般会計補正予算(青森県東方沖を震源とする地震に関する復旧事業費)	◎
84	指定管理者の指定について(むつ来さまい館外1施設の指定管理者を指定するためのもの)	◎	報30	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
85	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について	◎	報31	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
			議員 6	むつ市議会傍聴規則の一部を改正する規則	◎

各 議 員 の 賛 否 一 覧

賛否が分かれた議案について、議員別に賛成・反対を公表します。
○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決時に不在。議長(富岡幸夫)は採決に加わらない

議案番号等			議決結果	合 計			市誠クラブ			公明・自由			自民クラブ				陸奥未来				むつの風				会派に属しない議員		
				賛成	反対	欠席・不在	佐賀英生	野中貴健	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	富岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	富岡直哉	杉浦弘樹	濱田栄子	東健而	大瀧次男	佐藤武	工藤祥子
議案	92	可決	17	2	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	欠	● 討論	

各委員会の新構成が決定

各委員会の委員の任期満了（２年間）に伴い、第 169 回臨時会で新たに委員の選任を行いました。委員会の構成は下記のとおりとなります。

●総務教育常任委員会

	委員長 村中 浩明 Muranaka hiroaki 会派：陸奥未来		副委員長 住吉 年広 Sumiyoshi toshihiro 会派：公明・自由		委員 佐藤 武 Sato takeshi 会派：無会派		委員 濱田 栄子 Hamada eiko 会派：むつの風
	委員 浅利 竹二郎 Asari takejiro 会派：自民クラブ		委員 佐々木 隆徳 Sasaki takanori 会派：陸奥未来		委員 佐賀 英生 Saga hideo 会派：市誠クラブ		委員（議長） 富岡 幸夫 Tomioka yukio 会派：自民クラブ

●産業建設常任委員会

	委員長 井田 茂樹 Ida shigeki 会派：自民クラブ		副委員長 野中 貴健 Nonaka takayuki 会派：市誠クラブ		委員 工藤 祥子 Kudo shoko 会派：無会派		委員 白井 二郎 Shirai jiro 会派：公明・自由
	委員 東 健而 Azuma kenji 会派：むつの風		委員（副議長） 岡崎 健吾 Okazaki kengo 会派：陸奥未来		委員 佐々木 肇 Sasaki hajime 会派：自民クラブ		

●民生福祉常任委員会

	委員長 杉浦 弘樹 Sugiura hiroki 会派：むつの風		副委員長 富岡 直哉 Tomioka naoya 会派：陸奥未来		委員 高橋 征志 Takahashi masashi 会派：無会派		委員 櫻田 秀夫 Sakurada hideo 会派：公明・自由
	委員 佐藤 広政 Sato hiromasa 会派：市誠クラブ		委員 中村 正志 Nakamura masashi 会派：自民クラブ		委員 大瀧 次男 Ootaki tsugio 会派：むつの風		

●議会運営委員会

委員長 中村 正志	副委員長 住吉 年広	委員 富岡 直哉	村中 浩明	井田 茂樹	佐賀 英生	大瀧 次男
---------------------	----------------------	--------------------	--------------	--------------	--------------	--------------



むつ消防団 第一分団

おおくぼ けいじ
団員 大久保 奎 さん

若者よ、消防団を一緒にやろうよ！

入団1年目、21歳大学生です。入団のきっかけは、田名部まつりの義勇組に参加しているのですが、そこで先輩方から熱烈的な勧誘を受けたからです。私はまだ火災現場には出動したことはありませんが、観閲式やその他防火活動に参加して、ほんの少しだけ市民の皆さんの役に立っているのかなと思います。また、普段はあまりかわりの少ない年上の人、先輩方と交流を持てるのも楽しいです。むつ市に望むことは、この間の地震の時もそうでしたが、車での避難が多く渋滞が起きているので、大湊地区をはじめとして道路整備が必要だと思います。市民の皆さんには、少子高齢化の中、私たち若者が地域にどう貢献していくかがもっと大事になると思います。私は大学卒業後、消防士になるという目標を持っているので、色んなことにチャレンジしてがんばります。

市民の声 ～むつ市消防団～

消防団活動は意外と楽しいよ(^o^)

入団5年目、50歳、独身です。普段は大工をしています。お客様からの評判いいですよ(笑)。入団のきっかけは、歳の近い仲間の誘いで入団しました。今思えば、もっと早く入団すれば良かったと思っています。一番の思い出は、一昨年、下北地区の操法大会に出場し準優勝したことです。消防職員のアドバイスを受けながら、仕事終わりの夕方、週3回、2か月間みっちり練習をしました。ちょっとの差で優勝は逃しましたが、良い経験になりました。消防団員として、今は仲間とのふれあいにやりがいを感じています。市民の皆様には、防火予防に徹し、火の用心をお願いします。



📷 下北地区消防操法大会で準優勝



むつ消防団 第十一分団

やまざき ちから
団員 山崎 力 さん

12月23日 厚生労働省へ要望活動を実施



むつ総合病院の再建への支援を

令和7年12月23日、むつ市と一部事務組合下北医療センターと共に厚生労働省へ「青森県東方沖地震による被災からのむつ総合病院の再建への支援について」要望活動を実施しました。要望では、「むつ総合病院の現状」「入院病棟の現状」「青森県東方沖地震による被災について」をお伝えし、被災復旧のため「国・青森県・むつ市による協議体の設立」「再建に係る財政支援について」を要望しました。

編集後記



議会の会議録の全文が、市議会のホームページで見られるのをご存じでしょうか。議会だよりはその要約版。紙面に書き切れない議場での議論に、関心を持ってもらえるような「議会だより」へ。

新体制で臨む、シン・広報広聴委員会。がんばります。(高橋征志)

↓むつ市議会の情報はここから↓



ホームページ



YouTube



LINE



Facebook



Instagram